

代表質問・一般質問 (3)

日本共産党西東京市議団

小学生の医療費無料化、グループホームの増設、30人学級・中学校給食実施を

安 斎 慎 一 郎
大 川 清 子
保 谷 康 雄
倉 根 功
高 梨 時 美
葉 原 美

夜間小児救急医療の充実を
【質問】小児救急医療の充実について伺う。

【市長】小児科医の不足問題から、近隣4市と5医師会の協力を得て実施する。

【保健福祉部長】診療は、週2日、火・金曜日、午後7時半から10時半までセンターで対応する。

小学生の医療費の無料化を
【質問】乳幼児医療費の所得制限をなくし、小学生の医療費無料の実施を。

【市長】来年度以降の実施に向け取り組みたい。

保育園の民営化の見直しを
【質問】みどり保育園の民間委託は、父母の66%が否定的な意見を持っている。情報公開と説明責任は不十分。再検討を。

【市長】みどり・田無保育園で、民間委託については保護者全体の説明会を行った。当面は建てかえと、民営化を進める。

児童館・学童クラブの充実を
【質問】児童館の夜間開館の現状と課題点、学童クラブの充足状況と障害児の受け入れについて伺う。



【市長】北原児童館の建てかえにあわせ、学童クラブを新設し、近隣施設の定員超過対策を図る。

【児童青少年部長】学童クラブでの障害児の受け入れは48人。また、児童館の夜間開館は中高生の居場所のために行っている。昨年度は下保谷・田無柳沢児童センターで、それぞれ1千人余の利用があった。

【質問】子どもの権利条例を制定を。

【市長】平成19年度から検討し、子どもたちを含む多くの市民の意見を取り入れた。そのために、子どもの権利擁護の啓発、広報の充実に取り組み。

【質問】30人未満施設の整備、特養ホームの増設の検討、グループホームの増設を。

【市長】70人近い待機者がいる。グループホームの増設や介護支援センターの開設

など可能な支援をしたい。リサイクルプラザ建設計画の見直しを

【質問】リサイクルとは名ばかりで、職員詰所とパツカ1車の駐車場。啓発の施設なら消費者センターや公民館でやれる。建設中止を。

【市長】見直し期間は1年とせ、ゼロベースの場合も含む。



親子体験農業

め、どうなるか説明できるような準備もしたい。
【質問】野菜づくり公開講座を農家の方に、市民対象の野菜づくり講座を要望する声が多い。見解は。

【市長】家族農園を新設した。農業者への補助、農家と市民の交流の促進、援農ボランティア育成事業、親子農業体験の継続実施を予定している。

【質問】30人学級の実施を

【質問】30人学級を減った学校では「不登校が減った」「学力回復の効果があった」と報告されている。市内の小中学校では40人を超える学級があり、改善が急がれる。

【教育長】少人数学級を市独自で実施するためには、課題が多いが、先例自治体の事例を参考に検討したい。
【質問】普通学級に通う障害

児への介助員配置に責任を。
【教育長】費用負担や学校経営指導上の問題など、他市の事例を参考に保護者等と十分協議し、実態に即した対応をしたい。
【学校教育部長】町田市、日野市、区部を視察した。介助員をつける際のコーディネート、介助員の確保などの検討を行って、教育委員会としての位置づけをして実施したい。

【質問】中学校給食の開始を

【質問】現在の外注弁当は学校給食とは言えない。中学校完全給食を検討し、実施せよ。

【教育長】中学校給食のあり方について、引き続き検討していく。

【学校教育部長】初年度で10億円の経費がかかるので、財政的な負担を含めた検討をしている。

自由民主党西東京市議団
緊縮型予算編成の17年度予算
坂口新市長の
基本的政治姿勢を問う!!

市長の基本的政治姿勢について

【質問】緊縮財政を余儀なくされた平成17年度予算であるが、坂口新市長の基本的政治姿勢を問う。

【答弁】マニフェストの実行を目指し、市民の声を生かした開かれた市政、活力あるまちづくり、合併してよかった、いつまでも住み続けたいと思えるまちにする。地元企業への配慮について

【質問】依然厳しい経済状況の中、地元企業への配慮等についてどう考えているか。

【答弁】経済の活性化、雇用納税、防災の面からも電子入札等で市内業者が優遇される制度を考えていく。また、J-Vの導入も工事規模、内容等を精査し、検討する。

【質問】総合窓口、ワンストップサービスの導入等の検討はどうか。

【答弁】市役所は市内最大のサービス機関であり、税金で賄われているとの認識が重要。要望、苦情等も参考に検討していく。

【質問】新町都営跡地について

【答弁】新町都営跡地は、納税、防災の面からも電子入札等で市内業者が優遇される制度を考えていく。また、J-Vの導入も工事規模、内容等を精査し、検討する。

小林 たつや
鈴木 久幸
遠藤 源太郎
海老沢 寛進
中山 育彦
保谷 彦

【質問】マニフェストにもある新町都営跡地のその後は

【答弁】都と連携を密にし、近隣の市民等の意向を聞き、引き続き要請していく。

【意見】高齢者施策としてケアガーデン設置の検討を。ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりについて

【質問】北口の整備を早急に進めるべきと思うがどうか。

【答弁】街路事業中心に18年には基本設計を行う予定。北原交差点について

【質問】旧道部分のバイパスを外し、人や自転車が通れ



ひばりヶ丘駅北口

【質問】建設補助金の返還金等について伺う。

【答弁】返還請求による納付があれば、毎年892万円の補助金がある。

【意見】市民のための交差点となるよう願いたい。西原樹林会「青い鳥」について

【質問】建設補助金の返還金等について伺う。

【答弁】返還請求による納付があれば、毎年892万円の補助金がある。



助も行う予定である。公園行政について

【質問】せせらぎ公園の修理地がそのままである理由、観察池等の改修について。

【答弁】修理地については近隣住民の方との関係、植栽等への変更で理解が得られなかった。池等については今後改修を考慮する。

【質問】ドッグランを公園等に設置できないか。

【答弁】現状では困難である。【意見】都立公園のような大きなものでなく、10m四方でもよいので検討願いたい。

【質問】ワンワンパトロールについて

【質問】犬の散歩をする方々の防犯協力を得てはどうか。

【答弁】一部地域で既に行われている。



谷戸せせらぎ公園 (谷戸町1丁目)

【質問】予防注射のときに防犯と書いたトートバック等を配ってはどうか。

【意見】セカンド・スクール、友好姉妹都市との多面的交流について

【質問】武蔵野市で実施されているセカンド・スクール(通常の学習では体験しにくい学習を自然豊かなところに長期滞在して行う)を、友好姉妹都市と提携するなどにより行えないか。

【答弁】武蔵野市では1億1

千万円くらいかけており、当市では困難であるが、友好姉妹都市とのさまざまな提携の中で考えていきたい。

【質問】国会でも問題になっている過激な性教育が一部小中学校で行われていると聞く。本市の状況はどうか。

【答弁】当市ではそのようなことは行われておらず、学習指導要領に基づき、保護者の理解を得られるもの、子どもの成長に合ったもの、教育指導計画に合ったものを採用し、教育している。深刻化する児童虐待問題について

【質問】母親が幼い子を殴ってけがをさせ、または殺している。市の対策は。

【答弁】4月に「児童虐待防止協議会」を設置し、対策を検討している。